

今回は獨協医科大学脳神経外科の金彪先生のご担当で、「髄内腫瘍の集大成と最近の話題」という特集をお届けする。外科治療、モニタリング、鑑別診断という3部仕立てで、外科治療として、金彪先生が髄内腫瘍治療の実相、多様性と課題について飛驒一利先生、有馬秀幸先生、高見俊宏先生がそれぞれ外科治療の詳細について執筆されている。まさに、日本の脊髄髄内腫瘍の手術の集大成と思われる。モニタリングとしては、髄内腫瘍における MEP モニタリングの実際について、獨協医科大学脳神経外科の黒川龍先生に記事いただき、金先生の下での貴重な経験を披露していただいた。鑑別診断としては、非腫瘍性髄内病変の鑑別診断について、安城更生病院神経内科の安藤哲朗先生が、サルコイドーシス、頸椎症性髄内浮腫、多発性硬化症、NMO を挙げて解説している。

私が専門の放射線診断としては、柳下章先生が最近経験した報告の少ない髄内悪性神経膠腫の画像所見に絞って記載している。1例は1年以上の経過と長い空洞を伴う病理的には small cell astrocytoma/glioblastoma に近い悪性の星細胞腫（最初から小脳に播種があった）と考えられている。もう1つは、びまん性正中神経膠腫 Histone H3-K27M 遺伝子変異が示されている。例によって、大変勉強になった。

また、今回の Nomade は読み応えがあり、脊椎脊髄領域での大規模データベース化の流れについて、獨協医科大学整形外科の種市洋先生が熱く語られている。大規模データベースの重要性は放射線科領域では ICT、特に、artificial intelligence (AI) とあわせて語られることが多いが、医療機器との関わりなど興味深く読ませていただいた。整形外科関連の植え込み機器は数多いが、MRI の安全性試験などがきちんと行われていないものも MRI が行われることがあり（たいていは問題なく施行されるため）、その情報なども集められるとよいと思われた。MRI の安全性試験はかなり厳しく設定されているので、過去に植え込まれたものでは MRI の適合性試験が行われていない場合もある。

今後、新専門医制度や診療報酬改定など医療関係で変化が押し寄せると思われ、対応に時間がとられるが、医療者にとって何とかよい方向に進むことを期待している。

(青木茂樹)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

徳橋泰明 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 田口敏彦
谷 論 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 30 No. 12
(2017 年 12 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,300 円 + 税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 30,700 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2017,

Printed in Japan

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。